

令和2年度
事業計画書

社会福祉法人

やながせ福祉会

令和2年度 事業計画

やながせ福祉会

急速な少子高齢化、地域社会の変容等により福祉ニーズが多様化、複雑化していく中、福祉サービスの主たる担い手である社会福祉法人が果たしていく役割はますます重要になっています。また、今後の高齢化の進展に伴い、介護ニーズの多様化及び高度化が見込まれる中、介護人材を初めとした福祉人材の確保を、量と質の両方から総合的かつ計画的に推進していくことが求められています。

そのため、やながせ福祉会として、これまで育んできた取り組みなどについて、PDCAサイクルをもとに振り返り、見直していくことで、より地域の福祉ニーズに応じた対応に努めていきます。

具体的には、地域住民の方々に各拠点の地域交流室の貸し出しや24時間見守り事業、介護福祉士実務者研修並びに福祉セミナーの開催など、地域サポート事業に力を注いでいきます。

また、『日本が先進国としての役割を果たしつつ、国際社会との調和ある発展を図っていくため、技能、技術又は知識の開発途上国等への移転を図り、開発途上国等の経済発展を担う「人づくり」に協力すること』を目的とされる外国人技能実習を受け入れ、OJT（現任訓練）をもとに人材育成にあたることで、現任者の知識と技術の向上にも努めていきます。

人材育成に関わらず、取り組みを通じて、人と人をつなぐ役割も担うことから接遇のあり方についても理解を深め、実践していくことで、信頼関係の構築にも努めていきます。

原則、要介護3以上でない特別養護老人ホームに入居できない中、要介護3未満の方々が住み慣れた地域で安心した生活がかなうように特定施設入居者生活介護を開所することからこれまで以上に地域から慕われる事業運営を目指していきます。

教育・保育事業

教育改革や無償化、働き方改革等叫ばれ、認定こども園を取り巻く社会は大きく変わろうとしています。本施設も今まで築いてきた伝統を大切にしつつ、時代にあった教育・保育施設として生まれ変わるため、本年度は『「あたりまえ」を見直すことで、新しい施設づくり』を目標に職員間で検討し合う機会を多く作り、取り組んでいきます。

具体的対応策として、まず園庭や遊具、保育室やトイレの改修、棚等の備品の入れ替え等を行い環境面から変えていきます。教育・保育内容については、研修や勉強会で職員が学び共通理解をした上で、日々の生活の流れや未満児保育・行事等を「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に沿ったものへと検討していきます。長年使ってきた、各種マニュアルや計画については、委員会等において再確認し、現状に合ったものへと作成していきます。また、情報公開については、拠点事業や園だより・パンフレット・掲示板・ホームページ等の使い方を一新させ、子育て支援の充実や人材確保へつなげていきます。

社会において保育士不足が叫ばれる中、本施設においても、今年度は特に育休を取得する職員が増え、人材不足が心配されます。幸い、新年度6人の新卒職員を採用出来ましたが、この機会に組織の形態を見直していきます。各リーダーが職務について意識し、分業することで業務の効率化を図り、施設における働き方改革につなげていきます。

中堅職員が、園外研修等で習得した知識を講師となって行う園内研修や、新卒職員も含む小さな集団での委員会活動で互いに話す機会を持つことで、人材育成と職員の定着化へとつなげていきます。

老人福祉事業・介護保険事業

介護ニーズの多様化及び高度化への対応に加えて、事業目標の達成に向け、一人ひとりの職員が、現状、行っている支援や関わりについて、PDCAサイクルをもとに顧み、より適切な内容を模索し、多職種協働で実践していくことで、職員個々の知識と技術の向上を図るとともに組織としての体制強化に努めていきます。

また、地域サポートとして、24時間見守り事業や地域住民を対象とした福祉セミナーの開催、いきいき百歳体操や認知症サロンなど集いの場への地域交流室の貸し出しなど、地域ニーズに応じた取り組みを勝原ホーム、第二ホーム、大津ホームの拠点ごとにそれぞれの特性にあわせて、実施していきます。

加えて、前年度事業として、兵庫県からの補助金などを活用し、移乗リフトや見守りセンサーなど介護ロボットを導入したため、職員、利用者とともに互い負担のかからない支援のあり方について、より一層理解を深め、関係職員間で情報を共有し、実践していきます。

さらに介護保険施設と居宅サービス事業所については、事業計画の中に目標とする稼働率を掲げたため、PDCAサイクルをもとに検証し、原因を追究していくことで、対応の改善に努めていきます。

人材育成としては、生活相談員、介護主任、ユニットリーダー、介護支援専門員など介護現場で中心となる職員を対象に外部講師による研修を行い、リーダー養成に努めます。あわせて、利用者にとって、居心地の良い対応に努め、信頼の醸成を図るため、全職員を対象に接遇研修も行います。

このような情勢の中、各事業所は次の事業計画を作成し、事業目標を意識し、職員一丸となり利用者サービスの向上に努め、利用者増、収入増につなげて行きます。具体的には、事業活動収支差額に関して、対前年比1%増を目標に事業の推進に努めます。

1. 法人の概要

設置主体	社会福祉法人
法人の名称	やながせ福祉会
法人の所在地	〒671-1201 姫路市勝原区下太田 571 TEL 079-273-1311 / FAX 079-273-4321
認可日	昭和 46 年 12 月 23 日
代表者	理事長 石田徳男

2. 社会福祉事業

種別	施設又は事業の種別、名称等	管理者氏名	定員	事業開始年月日
2種	やながせ保育園 幼保連携型認定こども園	石田由美子	185名	昭和47年4月1日 (平成31年4月1日)
2種	大津みやび野 分園	石田由美子	30名	平成25年4月1日
2種	一時預かり事業	石田由美子		平成27年4月1日
2種	地域子育て支援拠点事業	石田由美子		平成29年4月1日
1種	姫路・勝原ホーム	石田文徳	50名	平成1年7月1日
2種	勝原デイ・サービスセンター	石田文徳	25名/日	平成1年10月1日
2種	姫路・勝原ホーム 短期入所生活介護	石田文徳	18名/日	平成13年4月1日
2種	姫路・勝原ホーム 認知症対応型共同生活介護	石田智徳	9名	平成13年4月1日
2種	定期巡回 かつはら	河野貴治郎		平成31年1月1日
2種	勝原第二デイサービスセンター	岸原一広	40名/日	平成13年11月1日
1種	第二姫路・勝原ホーム	河崎文武	29名	平成21年4月1日
2種	第二姫路・勝原ホーム 小規模多機能型居宅介護	河崎文武	29名 登録	平成21年4月1日
1種	大津みやび野ホーム	塩見優次	70名	平成26年4月1日
2種	大津みやび野ホーム 短期入所生活介護	塩見優次	10名/日	平成26年4月1日
2種	大津みやび野 デイサービスセンター（認知症）	辻 勝彦	12名/日	平成24年11月1日
2種	大津みやび野 デイサービスセンター	辻 勝彦	30名/日	平成25年1月1日

3. 公益事業

施設又は事業の種別、名称等	管理者氏名	定員	事業開始年月日
介護付き有料老人ホーム かつはら	細野欣之	50名	令和2年4月1日
姫路・勝原ホーム居宅介護支援事業所	斉藤奈々子		平成12年4月1日
大津みやび野ホーム居宅介護支援事業所	矢内ゆり		平成26年4月1日
姫路市朝日地域包括支援センター	和田尚子		平成19年4月1日
姫路市網干地域包括支援センター	戸田眞弓		平成21年4月1日
姫路市大津地域包括支援センター	丸尾美保		平成24年4月1日

4. 収益事業

施設又は事業の種別、名称等
介護福祉士実務者研修 (株ニッソーネット共済)

5. 受託事業

施設又は事業の種別、名称等
高齢者世話付住宅職員派遣事業 (姫路市委託事業)
生きがいデイサービス事業 (姫路市委託事業)

6. 地域支援事業

地域社会に貢献する為次の事業を実施します。

事業名	内容
介護技術講習会の開催 (兵庫県委託事業)	要支援、要介護状態となっても、できる限り在宅で暮らせるようにするためには、介護保険内、外のサービスに加えて、家族の介護力を高めることも重要であることから、講習会を開催する。【勝原・第二・大津 各1回 計3回】
地域サポート事業	携帯電話などの通信機器を活用し、契約者からの連絡に応じて、訪問して、対応するなど24時間体制での見守りを行う。いきいきサロンやいきいき百歳体操の場などに地域交流室を貸し出すとともに参加者の送迎を行う。さらに地域住民向けに介護保険制度や高齢者福祉施策に関する地域福祉セミナーを開催する。(随時)

7. 年間計画

月	行 事 内 容	内 容
5月	・ 監事監査	・ 令和元年度 監事監査
6月	・ 理事会	・ 令和元年度 決算 ・ 令和元年度 事業報告
6月	・ 評議員会	・ 令和元年度 決算 ・ 令和元年度 事業報告
10月	・ 理事会	・ 令和2年度 上半期事業報告
10月	・ 評議員会	・ 令和2年度 上半期事業報告
3月	・ 理事会	・ 令和3年度 事業計画 ・ 令和3年度 予算
3月	・ 評議員会	・ 令和3年度 事業計画 ・ 令和3年度 予算

8. 研修計画

対 象	目 的	研 修
法人役員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会情勢や動向を踏まえ、社会福祉法人経営者が果たすべき役割と取り組むべきことなどを理解し、習得する。 ・ 経営の透明性と向上を図るため、監事の役割や具体的な業務の進め方などを習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人役員研修